

## 観光社会資本の事例

テーマ	自然の中でのやすらぎとふれあい
<b>【施設の状況写真】</b>   <p data-bbox="199 792 759 909">背後に讃岐富士(飯野山)を望み、四季折々の姿が見られる自然豊かな公園である。</p> <p data-bbox="820 792 1358 909">生物との対話ができる公園として、地元の自然体験・環境教育活動の拠点となっている。</p>	
<b>【施設の利用写真】</b>   <p data-bbox="207 1453 756 1552">公園内に設けられた人工池。水深が浅いので、幼い子供たちも利用できる。</p> <p data-bbox="825 1453 1374 1579">毎年実施されるホタルまつり。年間を通して様々な行事が行われており、遠方からも多くの方々が参加されている。</p>	
<b>【観光資源としての利用状況】</b> <p data-bbox="148 1686 1445 1917">土器川生物公園は、ビオトープ(生物の生息・成育空間)公園として平成9年6月に開園しました。土器川の自然を活かし、せせらぎ水路や自然生態園などを整備しており、幼い子供も自然とふれあうことができます。また、年間を通して様々な行事も行われており、人々が自然に親しむ憩いの場及び環境教育の場として利用されているとともに、香川県や丸亀市、丸亀市観光協会等のHPでも積極的に紹介されるなど、県民の貴重な財産になりつつあります。</p> <p data-bbox="148 1926 1445 2011">さらに平成15年2月には、「四国のみずべ八十八ヵ所」に選定され、屋外活動の拠点としての役割が益々期待されています。</p>	

テーマ	自然の中でのやすらぎとふれあい
【社会資本の基礎データ】	
名称	土器川生物公園
所在地	香川県丸亀市垂水町 910 番地地先
事業名	河川環境整備事業、地方特定河川等環境整備事業
事業主体	国土交通省、丸亀市
事業期間	平成5年～
【社会資本の役割・効果】	
水防拠点	
土器川生物公園に隣接して、水防拠点としての役割を担う防災ステーションが整備されており、出水時での対策本部や地域住民の避難場所としての機能を果たすとともに、水防活動に必要な資材を備蓄している。	
治水・利水形態の伝承	
土器川生物公園は、急流河川独特の治水形態である霞堤の河川敷部を利用して整備されている。また、公園内にある小川や池には、土器川独特の利水形態である「出水(ですい)」（土器川の伏流水を農業用水として利用する施設）の水が利用されるなど、土器川における治水・利水の歴史が学べる場所となっている。	
自然の姿	
川の自然をあるがままに再現した公園で、人と自然が共存しながら生物たちと対話できる環境が整っており、ホタルも飛び交う憩いの場所である。自然との対話を通じて豊かな心を育むための格好の空間となっている。	
【位置図】	
【関連ホームページ】 丸亀市観光協会 <a href="http://www12.ocn.ne.jp/marugame/">http://www12.ocn.ne.jp/marugame/</a>	
丸亀市 <a href="http://www.city.marugame.kagawa.jp/">http://www.city.marugame.kagawa.jp/</a> 国土交通省 <a href="http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/">http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/</a>	